



第6回前橋市アーバンデザインシンポジウム ～シビックプライドを育むまちづくり～

前橋市 市街地整備課

はじめに



会場は国指定重要文化財の臨江閣

令和元年に「前橋市アーバンデザイン」が策定されて以来、中心市街地では大小様々な事業が動き始め、令和6年3月には「馬場川通りアーバンデザインプロジェクト」の整備が完了しました。工事の竣工がゴールと見られがちですが、その先にある「まちづかい」を市民自ら実践することこそが「前橋市アーバンデザイン」の目指すところです。有識者の方から「シビックプライド」についてお話を頂き、前橋市におけるシビックプライドの醸成や「まちづかい」に対して「自分からまちで何かやってみよう」といった新たな発見や意識啓発を行うことを目的としたシンポジウムを令和7年2月26日に開催しました。

取組紹介

本市の取組紹介として「前橋市アーバンデザイン」についての説明と実際に行われた、大小さまざまなまちづかいについて報告しました。次に、馬場川通りを良くする会実行委員の伊藤浩士(いとうひろし)様から「馬場川通りを起点とした整備後のまちづかい」をテーマにソフト面における「にぎわい」「整備・維持」「かわりしろづくり」についてお話いただきました。

基調講演

ご講演頂いたのは東京理科大学教授でありシビックプライド研究会代表の伊藤香織(いとうかおり)様です。タイトルは「まちの精神を引き継ぎ創造的に未来を拓く」。海外や全国の事例を挙げながら「シビックプライド」についてのお話や「まち」との関わり方についてご講演いただきました。講演後には小川市長からご講演の感想と、これからのまちづくりについてコメントを頂きました。



馬場川通りの取組紹介(伊藤浩士様)



基調講演の講師(伊藤香織様)



会場の様子(臨江閣別館2階大広間)

まちづかいワークショップ 【前橋のシビックプライドを考えよう】

シンポジウムの後半では一般社団法人前橋デザインコミッションが企画したワークショップが開催されました。「愛着」「誇り」「共感」といったキーワードを手掛かりに、対話を通じてそれぞれのシビックプライドについて探りました。最後に伊藤先生から講評を頂き、シンポジウムは閉会となりました。



ワークショップの様子

おわりに

今回のシンポジウム会場はテーマであるシビックプライドに合わせて、本市の誇りとなる国指定重要文化財の臨江閣で行いました。会場である大広間には、天井一面に深い格天井が広がっており、特別な雰囲気を感じております。伝統的な書院造の雰囲気から、参加者には他とは一味違うシンポジウムを楽しんでいただけたと思います。またオンライン配信も併用して開催したことで、県内外の方約100名の方にご参加いただき、本市の現在の変化やこれからの期待について知って頂くことができました。本市の今後の動きやこれからのまちづくりについても注目して頂けると幸いです。